

## 「New Style Cruise ～with コロナ時代のクルーズスタイル～」議事要旨

---

### (開催要領)

1. 開催日時：令和2年12月8日(火曜日)第1部 10:00～12:00
2. 場所：東京都 TKP 新橋カンファレンスセンター
3. 登壇者：  
国土交通省 海事局長 大坪新一郎  
観光レジリエンス研究所 代表 高松正人 ※観光危機管理専門家  
商船三井客船株式会社 取締役 川野恵一郎  
クルーズライター 上田寿美子  
クルーズマスター 株式会社 JTB クルーズ部所属 中島秀二  
国土交通省 海事局 外航課長 高木正人

### (プログラム)

1. 開会挨拶 司会
2. 講演①「クルーズを取り巻く現状、安全・安心に向けた取組」大坪新一郎
3. トライアルクルーズの映像
4. パネルディスカッション  
「New Style Cruise ～with コロナ時代のクルーズスタイル～」  
ファシリテーター 高松正人  
パネリスト 川野恵一郎／上田寿美子／中島秀二
5. 閉会挨拶 高木正人

\* 敬称略・順不同

---

### 1. 開会挨拶

今日は、国内のクルーズ船社が行っている船内の感染症対策を踏まえたコロナ時代における新しいクルーズの楽しみ方などについて、ご紹介します。また各有識者の皆様によるパネルディスカッションを行いまして、クルーズ船社の船の中での感染症対策の取り組みや、これからのクルーズへの期待などをお話ししていただきたいと思います。

### 2. 講演①「クルーズを取り巻く現状、安全・安心に向けた取組」

2019年、日本人でクルーズ船を利用した人数は35万7,000人となり、3年連続で30万人を超えました。しかし、2020年には新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、日本のクルーズ船3隻は8カ月間運航できませんでした。国土交通省では、4月末から有識者の皆様からご意見をいただき、さまざまな検討を進めた結果、10月下旬から順次、日本のクルー

ズ船3隻による国内クルーズの運航が再開されました。今後の取組みとしては、国内クルーズにおいて、船内での感染症対策を徹底させ、安全・安心を一つずつ積み上げることが重要と考えており、現時点で取り得る感染症対策をしっかりと講じたうえで、まずは、国内でのクルーズ船の運航を軌道に乗せて、国民の皆様のクルーズ船に対する信頼を取り戻し、国際クルーズを含む今後のクルーズ船の本格的な運航再開につなげていきたいと考えています。

### 3. トライアルクルーズの映像

飛鳥Ⅱ、にっぽん丸、ぱしふいっくびいなす、それぞれの船内での感染症対策、その取組みについて映像にて紹介。

### 4. パネルディスカッション

#### ①高松

東日本大震災をきっかけに観光分野の危機管理の仕事に携わるようになり、今では観光危機管理の専門家をしています。ダイヤモンド・プリンセス号での感染拡大の影響からクルーズに対する安心感が損なわれてしまいました。私自身も飛鳥Ⅱの試験航海に乗船し、高いレベルの感染症対策が行われているのを実感しました。

#### ②川野

クルーズ再開のためにガイドラインに準拠したマニュアル作成、認証を取得するために第三者機関である日本海事協会による審査を受けて、10月16日に本認証を取得しました。乗船客数も段階的に引き上げていく予定です。

感染対策の柱を「持ち込まない・うつさない・広げない」とし、CO2濃度センサーを使った換気など徹底的な感染症対策に取り組んでいます。数々の感染防止対策および感染者発生時の対応計画を、継続して監査、検証、改善、実行といったPDCAサイクルに乗せていくこと、そして乗組員への教育・トレーニングをたゆまなく続けていくことを重視しています。ご説明しました感染防止対策をしっかりと確実に講じて、お客様には安全安心の船内で快適にお過ごしいただきたいと思えます。

#### ③上田

約32年前からクルーズライターとして乗船取材していますが、再開後は飛鳥Ⅱとにっぽん丸に各1回ずつ乗船したので、実体験に基づく、感染症対策やクルーズの生活の様子をご紹介します。私は事前にPCR検査を受けて飛鳥Ⅱ、にっぽん丸に乗船。港では検温、健康質問表の提出など、念入りな乗船手続きが行われました。にっぽん丸ではマスクづくり教室など、今だからこそのイベントもありました。飛鳥Ⅱでは人数制限と検温のもと、夜に露天風呂に入りました。イベント数や種類は減っていますが、海に親しみ、自分の時間を楽しむことがしやすくなったと思えます。訪問した港でも歓送迎イベントや地元の方の見送りなど

があり、感激しました。今後、飛鳥Ⅱ、にっぽん丸、ぱしふいっくびいなすが、慎重にクルーズを再開し、そして安心・安全なクルーズを積み重ねていって、ぜひ日本の方にクルーズの信頼を取り戻していただきたいと思います。

#### ④中島

2000年初代の飛鳥に乗船し、大海原を眺めながらゆったりとした時の流れを感じるクルーズの素晴らしさを知りました。その後、クルーズマスターという資格認定をいただき、クルーズ振興の活動を行って参りました。船内は限られた空間ですから、換気は大丈夫なのか。感染された方が発生した場合、何日間も下船することができなくなるのではないか。などのご質問やお声をいただくこともあります。新たに構築された感染症対策についてお客様や寄港する地元市民の皆様には正しい情報をお伝えしていくためには、事業船社、旅行会社、といった事業者と、地元自治体の皆さま方とタッグを組み一体的にそうした情報をお伝えしていくということも大切なことではないかと考えています。人と人との心の繋がりのようなものを感じられるのもクルーズならではの魅力です。With コロナ時代だからこそそうしたクルーズの醍醐味を一人でも多くの方に味わっていただきたいと思います。

#### 5. 閉会挨拶

安全・安心を一つ一つ積み重ねて、住民や乗客の皆様の不安・不信を少しでも取り除き、皆様の期待に応えていく。「楽しかった、また乗りたい」という声につなげていく。今、国内の短期間のクルーズを再開していますが、これらの積重ねが今後の長期間の国内クルーズ、さらには国際クルーズの再開につながっていくものと考えていますし、この動きを政府としてもバックアップさせていただきたいと考えています。

以上